

こ ン ナ 事 業 も

札幌国際見本市開催費負担

2003札幌住環境フェア（第9回札幌国際見本市）を、7月17日（休）～20日（日）の4日間、コンベンションセンターで開催。「進化する住まい」をテーマに、住環境に関連するさまざまな出展を予定しています。入場は無料ですので、皆さんもぜひご覧ください。

「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担



昨年、ドイツ・ミュンヘン市との姉妹都市提携30周年を記念して行った「クリスマス市」。観光の振興や地域の活性化につながる事業として、今年も開催する予定です。

国際観光促進事業

中国の報道関係者や旅行業者を札幌へ招待し、取材や地元企業との交流などを促進することで、観光客誘致に取り組みます。また、韓国や中国で行われる見本市に出展し、観光関連業者とともにPR活動を展開します。

フットナビ！運営事業



札幌を訪れる方が、現在位置から付近の施設までの案内や、観光情報を携帯電話で入手できるように、インターネットを利用した情

報提供システムを構築しました。今後は、市民の皆さんと一緒に情報量を増やしていくほか、観光パンフレットなどを利用したPRにも力を入れていきます。

モエレ沼公園PR事業

イサム・ノグチが設計したモエレ沼公園は、昨年、日本産業デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞大賞を受賞。これを本市が誇る文化施設として、映像により国内外に広くPRしていきます。また、8月には中央噴水の整備に着工する予定です。

創業間もない企業の自立を支援

産業振興センターに入居している創業間もない起業家などに対し、勉強会の開催や企業間連携・交流の機会提供など、さまざまな支援を行い、自立と成長を促します。

技能振興支援事業



建築や塗装など「ものづくり」の現場を支える優秀な技能者の育成や、若年技能労働者の確保のため、成人向けの体験講座や、親子ものづくり教室を実施するなど、さまざまな形で技能の大切さをPRしていきます。また、昨年好評を博した「技能フェスティバル」を、今年も開催する予定です。

先端産業立地促進資金貸し付け

新たなサービス業の立地を促進することで、雇用創出などの効果が期待できることから、主に情報関連などの先端技術産業の企業に対し、工場などの用地取得費や建設費の一部を融資します。

産学官共同で新産業を創出

技術革新や新産業創造の基盤づくりのため、北海道大学を中心としたIT（情報技術）や工業デザインの研究に協力する事業に対し、国や道とともに支援していきます。



緊急的・臨時的な雇用を創出 就職支援に取り組みます

依然として厳しい経済状況を踏まえ、今年度も雇用関連施策に取り組みます。国の交付金を活用して、さまざまな事業を展開するほか、過去最低の就職内定率となった新規高卒者などの若年層を、臨時的任用職員として採用するなどの、七百人程度の雇用を創出します。また、若年層の未就職者などが増加していることから、就職支援セミナーや、障害のある方への雇用促進会の開催などを、関係機関と連携して行っていく予定です。

さらに、昨年十二月には、社会福祉総合センター（中央区大通西一九）内に「高齢者就業支援センター」を開設。区役所などの相談業務と連携を図りながら、公共職業安定所の相談員による職業相談を行っている。今後も、高齢者の就職支援に関するサービスを、一層充実させていく考えです。



までの発注実績を踏まえ、前年度予算のおおむね五割程度を骨格予算に計上しました。経済の活性化の一環として、魅力と潤いのある都市空間の創出を目指し、都心交通対策と連携した道路整備を進めていきます。また、公園に身体障害者対応のトイレを設置するほか、高齢者が安全・安心に生活できる居住環境を確保するため、高齢者向けの賃貸住宅の建設費用や家賃の一部を補助します。